５月小満（二十四節気）の頃

大幼

令和７年度
園長だより
No３
R7 年5月21日

色とりどりの傘の花が咲きました。朝からの雨模様、子どもたちの送り迎えも大変だったことと思います。無事で何より、ありがとうございました。これからも安全第一を願い横断歩道で待っています。大人には慣れた雨の日の景色も子どもにとっては見え方が違いますので、梅雨に入る時期、歩き方、傘のさし方、十分気を付けて来てください。今日は教頭先生が「雨はどんな音がしますか？ 」と放送をしていました。子どもたちの「幼稚園、楽しいな」を雨の日バージョンで朝からかきたてます。雨の後は草木が多い茂ることでしょう。（小満です）

さて、現在様々な定期健康診断を実施しています。学校は 6 月末までに行うように定められていますので準じて本園でも実施していますが、どのクラスもその待ち方の良さにびっくりしています。知らない病院の先生に会うことも、検査の内容も時には「怖いな」と思うこともあると思いますが、よく頑張っています。色々な大人の人に支えられていることも実感として出てくるかもしれません。今週末は「くすのき会」の皆様が園庭、砂場などで作業をしてくださいます。

来月始めからは様々な実習生が来園します。心も体も色々な人との出会いを通してぐんぐん大きくなっていくことを願っています。　『子どもは宝物！！』

おいしいお弁当ありがとうございます！
子どもたちは楽しみに笑顔で完食です！

火事避難訓練はハンカチで鼻口をふさいで素早い動きでした。年少さんも静かに忍者歩きで気配を消すほどでした。

ウメを 80 個も収穫して持ってきてくれました！

本園は大分大学の実習生以外にも県内外から年間を通して『主体的な幼児教育』を学ぶために先生方の来園があります。昨日 20 日は今年度初めての「リカレント研修」を実施しました。このリカレント研修は年間 14 回実施しながら幅広く公に幼児教育理解を進めるものでもあります。子どもたちはいつも通りダイナミックに遊んでいました。バケツを片付ける年長さんがよく乾くようにと「ブドウのように積む」と言っていたのには脱帽！すごい！

私は今ダンゴムシのとりこです。我が子 3 人も確かにダンゴムシを玄関で飼っていました。それ以来の出会いです。「どこから見ても可愛い」と年中さん。ダンゴムシの存在に感謝です。命を感じながら彼らと関わる子どもの姿は日々成長をしています。雨の日の今日も大事そうに心配そうに見つめていました。